

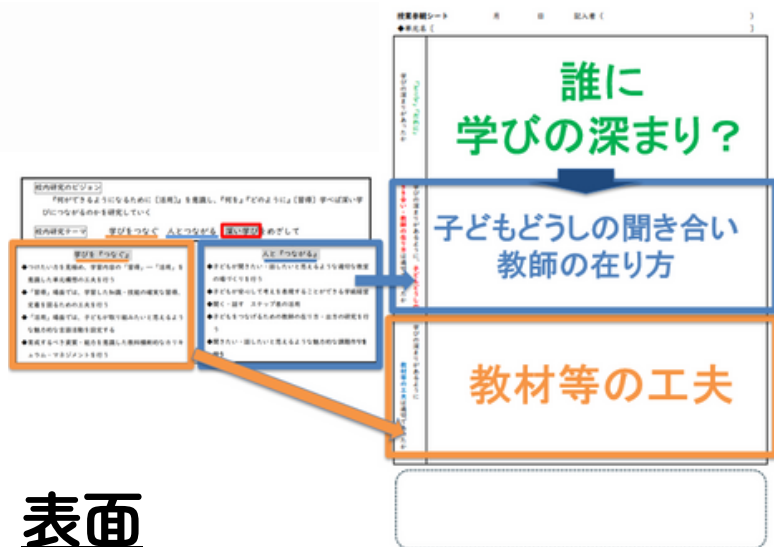
校内研修
レポート

研究授業って何のため？

今週末に予定されている研究授業の実施に先立ち、校内において「研究授業は何のために行うのか」をテーマとした教員向けの研修を行いました。本校では研究授業の目的を次のように整理しました。

『子どもの学びのようす』を見て、『授業を見る目』を学ぶ

この研修では、研究授業を「指導の良し悪しを評価する場」ではなく、**子どもたちの学びをより深めるために教員が協働で探求する場**であることを再確認しました。特に今回は、授業者だけではなく、参観者にとっても「学びとなる研究授業」にしていくことを大切に、「子どもがどう学んでいたか」「なぜその学びが生まれたのか」を中心に対話する姿勢の必要性について確認しました。



裏面

基本チェックシート

導入	①児童が、本時のめあてを意識し、見通しをもって学習に取り組んでいる。 ②導入時の動機づけによって、児童が関心・意欲をもって学びに向かうことができる。
展開	①生徒が自分の考えをまとめたり、課題に向き合ったりする時間を確保している。 ②考えるポイントが明確で、生徒の学びが方向づけられている。 ③視覚化などで、学習内容への意欲を高め引きつけられている。 ④ペアやグループになって話し合ったり学び合ったりする場が、学習過程に位置づけられている。 ⑤交流や学び合って深まった学習内容を発表・表現する場が設けられている。
まとめ	①児童が自らの学習振り返る場や時間を確保している。 ②振り返りによって、児童が次時への見通しをもつことができる。
教室環境	①教室内が、整理整頓されている。 ②黒板回りが、学習に集中できるようになっている（無駄な掲示物がない）。
学習 規律	①授業を通して、児童が落ち着いて学習に向かうことができる。 ②援助要求（わからない、教えてほしい）が出しやすい雰囲気になっている。 ③自己肯定感（集団自己肯定感）が高まる意識が醸成されている。

表面

また、授業者の意図や単元構成を共有しながら、参観する先生方が共通の視点で授業に臨めるよう、授業観察シートを作成・配布しました。この観察シートは表裏両面に分かれており、

表面 ... 「子どもたちの学びの様子」や「学びが深まったと考えられる原因」を記録する欄を設け、子ども中心の視点で授業を捉えられるようにしています。

裏面 ... 「授業の基本的な構成」「教室環境の整え」「導入・展開・終末の流れ」など、授業全体を客観的に見直すためのチェック項目をまとめました。

このような視点を明確にした観察シートを活用することで、**教員一人ひとりの授業観に共通性**が生まれ、研究授業における対話の質が深まるとともに、日常の授業改善にもつながる指標として活用できると考えています。

本番の研究授業では、子どもたちの姿から学び、ともに授業を創り出す時間となることを願っています。今後も、教職員一人ひとりが学び続ける姿勢を大切にしながら、子どもたちのより良い学びに還元できる研究の在り方を模索していきたいと思ひます。